

2017年 5月 16日

環境大臣 山本公一 様

小櫃川河口・盤洲干潟を守る連絡会  
代表 小関公平  
事務局 〒292-0434 千葉県君津市向郷 681  
御簾納照雄 方

## 要 請 書

### 主旨

袖ヶ浦市、千葉市及び横須賀市に計画されている石炭火力発電所の設置について、計画を撤回するよう強く要請するとともに、各方面にその働きかけをお願いいたします。

東京湾・千葉県木更津市の小櫃川（おびつがわ）河口域に広がる盤洲干潟は、1400ヘクタールの広大な面積をもつ日本最大級の砂質干潟であり、自然海岸の後背地には43ヘクタールもの塩性湿地帯があります。そこにはヨシが生い茂り、海岸部分は護岸もなく大昔から引き継がれた原風景を留めている日本国内で唯一の大規模自然干潟です。

この小櫃川河口・盤洲干潟で確認される生物は実に多種多様で、世界でここだけに生息する昆虫（キイロホソゴミムシ）や3年前に新たに発見された小型のカニ（バンズマメガニと命名された）も生息しています。また多くの渡り鳥にとっても欠かすことのできない採餌場所でもあります。

盤洲干潟には、現在六つの漁協があり、海苔、アサリの養殖がおこなわれております。5月のゴールデンウィークともなると各漁協が営む潮干狩り場は大勢の家族連れでにぎわいます。また干潟では業者が数カ所に簀立てを設置し、簀立て漁（簀立て遊び）を営んでいます。これは広大な干潟があればこそできる昔からの浜遊びです。このように盤洲干潟は人々の暮らしと深くかかわっています。また地域の学校や公民館、博物館などが積極的に環境教育の場として取り上げており、その価値は非常に高いものがあります。

今般、袖ヶ浦市に計画されている原発2基分の大規模石炭火力発電所は、盤洲干潟直近であり、大量のCO<sub>2</sub>・SO<sub>x</sub>・NO<sub>x</sub>排出・大気汚染と共に、毎秒82トンもの温排水は干潟という微妙な環境に生息する動植物群に多大な影響を与える事が危惧されます。東京湾の海流は袖ヶ浦沖から盤洲方面に流れていることと併せて考えると、なんとしてもその計画を撤回するよう要請するとともに、各方面にその働きかけを要請いたします。

以上